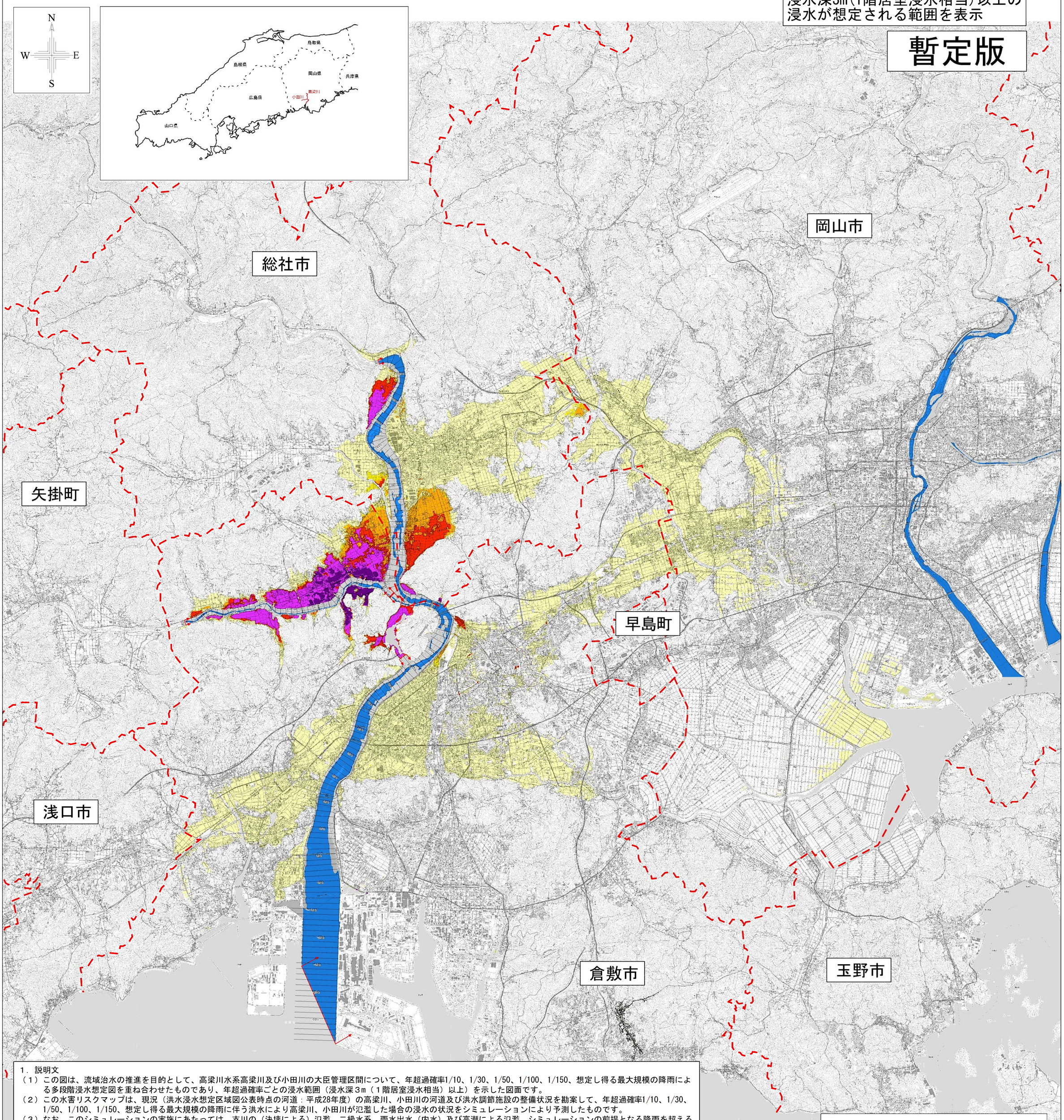
高梁川水系　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

暫定版



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）　R 3JHs 1007

１．説明文

（１）この図は、流域治水の推進を目的として、高梁川水系高梁川及び小田川の大臣管理区間について、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定し得る最大規模の降雨による多段階浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深３m（１階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況（洪水浸水想定区域図公表時点の河道：平成28年度）の高梁川、小田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により高梁川、小田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、二級水系、雨水出水（内水）及び高潮による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫等は考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、この水害リスクマップに示されている年超過確率と実際の浸水頻度が異なる場合があります。また、このシミュレーションは、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨は河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（高梁川：昭和55年８月型、小田川：昭和40年７月型）、想定し得る最大規模の降雨は洪水浸水想定区域図の検討時の降雨波形（高梁川：昭和38年７月型、小田川：平成元年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和４年３月31日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省　中国地方整備局　岡山河川事務所
高梁川水系高梁川
　左岸・右岸：総社市大字宍栗字杖ノ元564番１地先豪渓秦橋から海まで
高梁川水系小田川
　左岸：倉敷市真備町妹字市場3110番2地先から高梁川への合流点まで
　右岸：倉敷市真備町妹字猿掛3367番1地先から高梁川への合流点まで

（３）予測の前提となる降雨
年超過確率1/10　（高梁川：流域の２日間の総雨量153mm）
　（小田川：流域の２日間の総雨量148mm）
年超過確率1/30　（高梁川：流域の２日間の総雨量189mm）
　（小田川：流域の２日間の総雨量183mm）
年超過確率1/50　（高梁川：流域の２日間の総雨量207mm）
　（小田川：流域の２日間の総雨量200mm）
年超過確率1/100（高梁川：流域の２日間の総雨量233mm）
　（小田川：流域の２日間の総雨量225mm）
年超過確率1/150（高梁川：流域の２日間の総雨量248mm）
　（小田川：流域の２日間の総雨量240mm）
想定し得る最大規模の降雨　（高梁川：流域の48時間の総雨量674mm）
　（小田川：流域の48時間の総雨量888mm）

（４）河道条件　現況河道（洪水浸水想定区域図公表時点の河道：平成28年度）

（５）関係市　岡山市、倉敷市、総社市、浅口市

※この浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。